



県立広島大学・生命環境学部附属 フィールド科学教育研究センター

2013年で設立3年目を迎えました。地域の6次産業化を考える体験学習主体のフィールド科学実習の理解も進み、毎年履修者が増加しています。また、中四国大学間連携フィールド演習に初参加し、夏休み期間に食品資源フィールド科学演習を開催しました。6次産業化をテーマに掲げ、他の5大学から17名、合計37名の参加を得ました。秋野菜の定植、パン・ピザ等の食品加工、庄原市内の道の駅や高野町のリンゴ農家の見学を経て、今後の方策や意見をプレゼンテーションでまとめていただきました。フィールド科学卒論も公開発表しました。また、環境実験棟も太陽光発電やGC/MS装置を導入し、充実しています。



フィールド科学実習の履修者はさらに増加 数々の体験学習が好評

食品資源フィールド科学演習を初実施。教員や学生間交流も充実



備北バイオフィォーラムでのフィールド科学卒論の公開発表と加工開発品の試作公表

環境実験棟に太陽光発電システムを設置、GC/MS分析装置も導入

所在地 〒727-0023 広島県庄原市七塚町562

TEL : 0824-74-1780 Eメール : kohmura@pu-hiroshima.ac.jp